

石屋工務店 かわら版

第162号

H29年4月24日発行

石屋工務店

TEL 075 492-1483

〒603-8474 京都市北区大宮薬師山東町 47-5 建設業/京都府知事(般-25)第 31625 号 インテリアコーディネーター登録

料人 石屋の多趣味人生

その138

ツールドフランス



気候が良くなると自転車に乗りたくなります。今年は五条から会社まで自転車通勤を始めました。そして自転車と言えど世界一の自転車レース、ツールドフランスが気になります。

ツールドフランスは7月の下旬二十三日間、休日を2日挟んで二十一日間争われる最大の自転車レースです。総走行距離は3000km以上高低差2000mを走り抜く過酷なレースです。1チーム約9人、20チーム

で争われます。出場できるのは200人前後、世界トップの200人で、出場するだけで名誉になります。最近日本人も出場するようになってきました。毎年コースは変わるのでピレネ山脈越えと最終日パリのシャンゼリゼを走るのおきまりです。

ただ、自転車を漕いで速さを決めるだけのレースでは無く、1チーム1人のエースの為に他のメンバーがサポートしていきます。自転車競技は風の抵抗がもろにかかる競技です。いかに体力を温存して最後の最後に全力を出せるか、そこに駆け引きが有りません。1日200km前後を走り抜き最後

の数メートルで勝負がつくそんなレースなのです。1日毎のレースでチャンピオンが決まるのですが、全レースで最短の時間で走った選手が総合チャンピオンになります。総合1位の選手には「マイヨ・ジョーヌ」という賞が与えられ黄色いジャージを着る事が許されます。全選手がこの黄色いジャージを賭けて走っているのです。

毎年のレースのDVDが出ていますので、見返す事が出来ます。今回は2009年のものを見返しています。日本人の別府選手と新城選手が出走しているレースです。優勝に絡む事はできませんでしたが、いい走りをしてきています。



石屋 紀次

これから日本でもロードレースが流行ってこれればなと思っています。

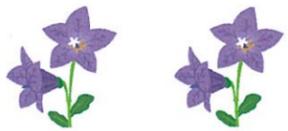
癒し

月に二度、知人のお寺で開催される『念仏会』に参加してきました。最近、とんとサボっておりませんが、参加すると気持ちやすくと和らぐ感じがします。鞍馬山一ノ鳥居の毘沙門堂もあるお寺ですが、失礼ながら大

きなお寺でもなく街中でもないで、毎回たたくさんの人が集まるわけではありませんが、京都にはたくさんのお寺があり、どちらも色々なイベントをされています。

ちよつと動きやすくなつた季節なので心を癒すものに接したいと思っています。

石坂 千孝



春の楽しみ

3月末に、城南宮のチケツトがあるからと祖母に誘われて行って来ました。2年ほど前に行った時は、梅の花が満開でとても綺麗だった記憶があったので、今年も見られるのだと期待して行ったのですが、時期が少し遅かったこともあり梅

は咲いていませんでした。変わりに椿が見頃のように、大きな花をさかせていました。次は桜を見に行こう！とのこと。先週平野神社に祖母と行って来ました。あいにく天気は曇り空。風が冷たい日に行つたのですが、満開の桜で綺麗でした。観光客が沢山来られるのも納得

です。しかし、穴場は色んな所にあるもので、これからの時期は私の実家の公園に咲くぼたん桜が本当に綺麗なのです。夜はピンク色にライトアップもしている幻想的です。人もおらず、ここでお花見するのが一番お勧めなんじゃないかと毎年思っています。機会があれば是非見て



石田 智恵

いたきたいです。

整理収納アドバイザー

先日、取得しました。最近、整理収納にはまっているという事も理由の一つですが、母が歳のせいか片付けが苦手になりました。昔のようにすっきりした空間が保たず、『捨てられない症候群』に入ると思っています。長年使用していないの

ばかりで、せっかくの収納スペースも不要な物で埋まり、本来片付けたいものを収めるスペースがなくなり表面に出てきてしまうのです。収納スペースがあると思っからこそスツク品も購入しすぎてしまう悪循環なのです。もちろん何でも捨てれば良いという事ではありませんが、思い出のものは写真におさめて処分するなど、少しの行動で新たなスペースが生まれます。頻繁に使用するもの、月ペースで使用するもの、年ペースで使用するもの、全く使わないものに仕分けしてみると、どれだけのものが必要なの

かが把握しやすくなると思っています。またジャンルごとにグルーピングすることで、使いたいときにケースごと取り出して、使用後は元の位置に戻すというシンプルな動作だけで片付けることができるのです。私自身もある程度散らかるまでは見なかつたフリをしますが、この資格を取得してから、目の前がごちゃごちゃしている状態が嫌になり、断捨離や整理収納が楽しくなりました。モノは買うだけでなく、捨てることにもお金がかかるといってもいい時代です。ものを整理するということは、気持ちもすっきりしますし、シンプルな空間であるからこそ心にもゆとりが生まれ



中島 あゆ美